

VASKO VASSILEV



ヴァイオリン界のスーパーstar
“ヴァスコ・ヴァッシレフ”

世界3大ヴァイオリン・コンクール

- ・ロン＝ティボー国際コンクール、
- ・パガニーニ国際コンクール、
- ・カール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクールへ
10代で全て入賞。

クラシックだけではなく、
ザ・ローリング・ストーンズの“ロン・ウッド”、
“スティング”とも音楽活動を始め、
ピアーズ・ブロスナン等など幅広い交流を持つ。

祖国ブルガリアでは、あのオーディション番組
〈THE X FACTOR〉の審査員も努めた。

史上最年少、23歳の若さで伝統の英国ロイヤル・オペラハウスのコンサートマスターに
任命された天才ヴァイオリニスト。

ロンドンでは他のトップオーケストラでのコンチェルト演奏、ソロ活動を行い、
祖国ブルガリアでは3万人を集客するコンサートを開催する
トップ・アーティスト“ヴァスコ・ヴァッシレフ”!!



イングリット・フジコ・ヘミング & ヴァスコ・ヴァッシレフ

“アヴェ・マリア”

Artist: イングリット・フジコ・ヘミング & ヴァスコ・ヴァッシレフ

Title: アヴェ・マリア

フジコ・ヘミング最新録音アルバム!! 2013年1月にブルガリアで録音されたライブアルバム。
ソロ曲3曲に加えて、ロイヤル・オペラ・ハウスの1stコンサートマスター
“ヴァスコ・ヴァッシレフ”との共演を収録!!

祖国でのヴァスコ・ヴァッシレフの熱狂的な人気ぶりに加えて、フジコ・ヘミングが欧州の
ホールが醸し出す雰囲気にも馴染んで瑞々しい演奏を紡ぎ出しているさまを体感できる1枚となっている。
(東端哲也: 解説より抜粋)

■ 収録曲 ■

01. プレリユード (前奏曲 Op.32-5 ト長調) / (ラフマニノフ)
02. ため息 (3つの演奏会用練習曲 S.144-3) / (リスト)
03. ピアノ・ソナタ第17番 二短調作品31-2
＜テンパスト＞第三楽章 アレグレット / (ベートーヴェン)
04. 歌劇「タイス」より「タイスの瞑想曲」 / (マスネ)
05. ハバネラ形式による小品 / (ラヴェル)
06. ハンガリー舞曲 第1番 ト短調 / (ブラームス)
07. アヴェ・マリア(エレンの歌 第3番 D.839 Op.52-6) / (シューベルト)
08. ラクリモーサ(ちいさきいのちのために) / (助川敏弥)
09. ハンガリー舞曲 第5番 ト短調 / (ブラームス)

※1～3曲 フジコ・ヘミング ソロ演奏

※4～9曲 フジコ・ヘミングと、ヴァスコ・ヴァッシレフのデュオ

RELEASE: 2013.7.17

¥ 2,800(tax in) / ¥ 2,667(tax out)

No. : YZDI-10102

JAN : 4560255253522



＜イングリット・フジコ・ヘミング＞

東京音楽学校(現・東京芸術大学)出身のピアニスト、大月投網子とロシア系スウェーデン人画家/建築家ジョスタ・ゲオルギー・ヘミングを両親としてベルリンに生まれる。5歳の時、帰国。以来母の手ひとつで東京に育ち、5歳から母投網子の手ほどきでピアノを始める。また10歳から、父の友人だったロシア生まれドイツ系ピアニスト、レオニード・クロイツァー氏にも師事。青山学院高等部在学中、17歳でデビュー・コンサートを果たす。また、東京芸大在学中には、毎日コンクール入賞、文化放送音楽賞など多数受賞。東京芸大卒業後より、本格的な演奏活動に入り、渡辺暁雄指揮による日本フィルなど、数多くの国内オーケストラと共演。その後28歳でドイツへ留学。ベルリン音楽学校を優秀な成績で卒業。その後長年にわたりヨーロッパに在任し、演奏家としてのキャリアを積む。1999年8月25日に発売されたファーストCD『奇蹟のカンパネラ』はこれまでに200万枚を売り上げるといふ、クラシック界異例の大ヒット。このCDは日本ゴールドディスク大賞、各賞のクラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。また、今販売されているCDは、クラシックの世界で売り上げもトップを独走し続けており、公演活動で多忙を極める中でも、米国同時多発テロ後の被災者救済のために1年間CDの印税を全額寄付を決定や、アフガニスタン難民のためにコンサートの出演料を寄付したりと、人を愛し人を支援し続ける事を忘れないのも彼女の人間味溢れる魅力のひとつで、その優しさは猫や犬をはじめ動物愛護への深い関心と援助を長年続けていることにも現れている。

＜ヴァスコ・ヴァッシレフ＞

数世紀の歴史を誇る、コヴェントガーデン・ロイヤルオペラハウスの第一ソロコンサートマスター(ロンドン最高地位のコンサートマスター)としてヨーロッパの音楽界に君臨するヴァスコ・ヴァッシレフ。1970年ソフィア生まれ。最年少にしてロイヤルオペラハウスのコンサートマスターに就任。現在、そのロイヤルオペラハウスの入り口には、天井まである雄大な彼の写真が飾られている。一方では、ザ・ローリング・ストーンズのロン・ウッド、スティヴィー・ニキ、レイジーヤなどクラシック以外のジャンルのミュージシャンとのコラボレーションも成功させ、アーティストとしての幅を着実に広げ続けている。また、世界中で有名な賞を受賞しているミュージシャンで結成されたインストゥルメンタル・グループや、スーパー・ガールズ・オーケストラのアコースティック・ディレクター&リーダーを務め、クラシックとポップスを融合させた新しいジャンルのエンターテイメント・ショーを披露。ロイヤル・アルバート・ホールでは、指揮者として見事なイギリス・デビューを果たした。近年、ロイヤルオペラハウスのクリエイティブ・プロデューサーに就任。現在、中国を第二の拠点として活躍する彼は、新しいテレビプロジェクトや劇場プロジェクトも手掛けている。加えて、祖国ブルガリアでは、ブルガリア国立放送交響楽団の指揮者としてツアーやレコーディングも行い、彼のコンサートには3万人以上の観客が押し寄せる。毎回、そのチケットは入手困難、街を歩けばたちまち多くのファンに取り囲まれてしまうほどの大人気スターである。まさに彼こそ、今をときめく逸材、世界トップランクのマルチ・ヴァイオリニストなのである。